

ヒメトップ Hime-

イサエアヒメコバチ剤

Top

<http://www.agrisect.com>

2パターンの攻撃で ハモグリバエ類を防除。

イサエアヒメコバチの成虫は、ハモグリバエ類の幼虫の体液を摂取（ホストフィーディング）する一方、ハモグリバエ類の幼虫を仮死状態にし、その脇に産卵します。ふ化したイサエアヒメコバチの幼虫はハモグリバエ類の幼虫を摂食します。



ヒメトップ

ハモグリバエ類に効く！



ヒメトップ導入例



イサエアヒメコバチ成虫



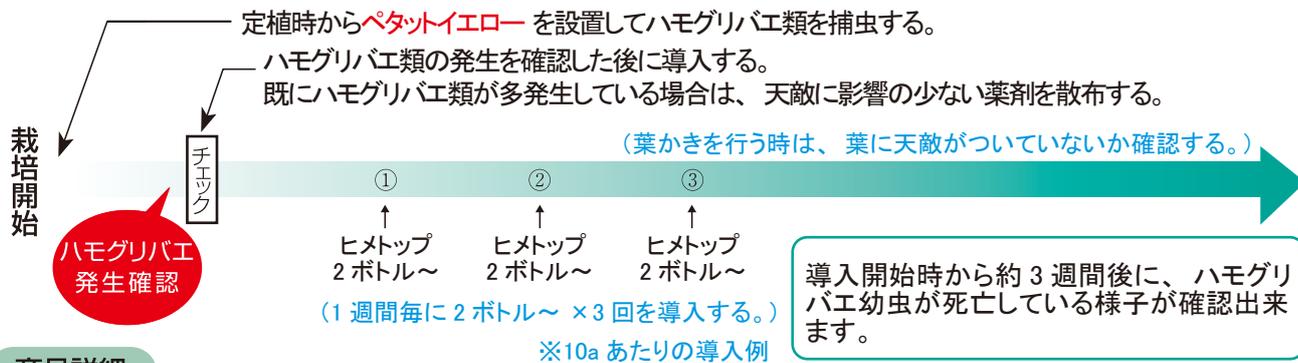
ハモグリバエ成虫

撃退



ハモグリバエによる被害

導入方法



商品詳細

商品名：ヒメトップ
種類名：イサエアヒメコバチ剤
学名：*Diglyphus isaea* (Walker)
(農林水産省登録第20884号)

製品規格：100頭 / ボトル

ヒメトツプ 導入マニュアル



ヒメトツプ

有効成分の種類及び含有量：イサエアヒメコバチ
羽化成虫100頭/100mlボトル

適用病害虫名：ハモグリバエ類

作物名：野菜類(施設栽培)

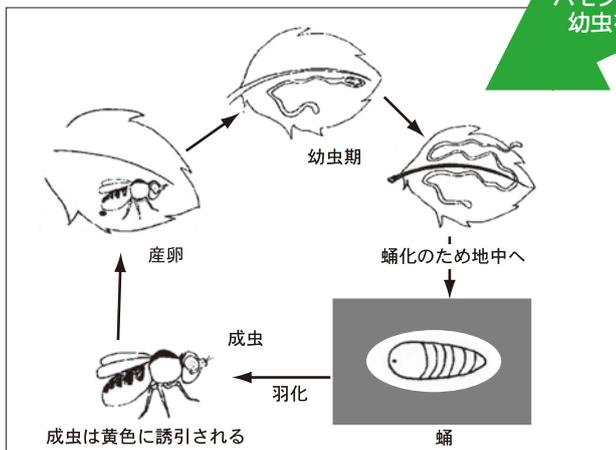
使用量：2～8ボトル(200～800頭)/10a

ヒメトツプ導入のタイミング ●ハモグリバエ類成虫の食痕（産卵痕）が確認され始めたら導入開始。
●ペタットイエローにハモグリバエ類成虫の捕虫が確認されたら導入開始。

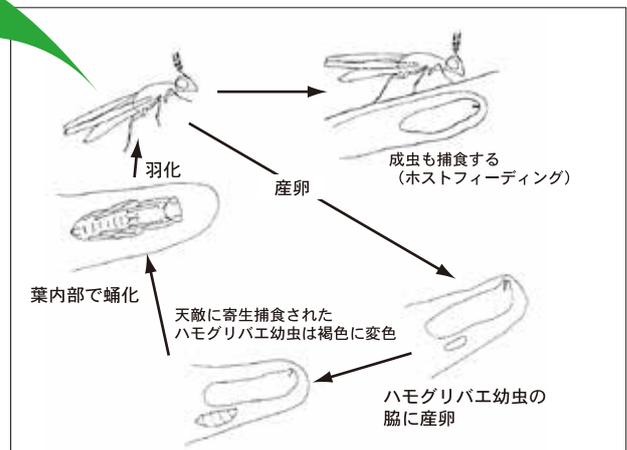
虫を知る

害虫とその天敵の生活サイクルを知りましょう。

〔ハモグリバエ〕



〔イサエアヒメコバチ〕



ハモグリバエの幼虫を攻撃!

ハモグリバエの成虫は、葉表の組織内に産卵し、孵化した幼虫はそのまま葉内に潜り込み組織を摂食する。この食害痕が「絵描き」となる。幼虫は葉内で生活するため、化学農薬が効きにくい。ハモグリバエは、卵、幼虫、蛹を経て成虫になる。幼虫はほとんどが土壌中に移動して蛹になる。

イサエアヒメコバチは、ホストフィーディング（寄主体液摂取）と寄生によってハモグリバエを攻撃する。イサエアヒメコバチの成虫は、ハモグリバエの幼虫を毒針で仮死状態にさせ、その脇に産卵する。孵化したイサエアヒメコバチの幼虫は、ハモグリバエの幼虫を摂食して成長する。ハモグリバエの幼虫を食べつくすと葉内で蛹化する。

こんな薬剤が併用できます

薬剤名	適用作物	イサエアヒメコバチへの影響	備考
カウンター乳剤	トマト、ミニトマト、なす など	0日	他天敵や訪花昆虫にも影響少ない
トリガード液剤	トマト、ミニトマト、なす、しゅんぎく など	0日	他天敵や訪花昆虫にも影響少ない
プレオフロアブル	トマト、ミニトマト、なす、きゅうり、メロン など	ほとんど影響なし	他天敵や訪花昆虫にもほとんど影響なし
プレバソンフロアブル5	トマト、ミニトマト、なす、きゅうり など	0日	他天敵や訪花昆虫にもほとんど影響なし

(注) 薬剤使用の際は必ず薬剤容器等に記載されている内容を再確認してください。

お問い合わせ・ご注文は

販売元